



大梅拈華山圓通正法寺、芦東山記念館、えさし郷土文化館合同企画

正法寺
學寮

2026
SHOBOJI GAKURYO

大梅拈華山
圓通
正法寺

文化の十字路
+クロスロード+

正法寺

—往来する人・モノ・コト—

令和8年

11月1日①

13時30分～16時30分

会場 えさし郷土文化館 研修室

定員 40人 (要事前申込)

参加料 400円 (入館料・資料代込)

申込方法 お電話か web ページの [申込フォーム]
からお申込みください

☎ 0197-31-1600 (9時～17時)

※ 定員となり次第、お申込みを締め切らせて頂きます



主催 えさし郷土文化館、芦東山記念館
特別協力 大梅拈華山圓通正法寺

えさし郷土文化館

Esashi Native District Cultural Museum

岩手県奥州市江刺岩谷堂字小名丸 102-1

☎ 0197-31-1600

<https://www.esashi-iwate.gr.jp/bunka/>

関連フォーラム

正法寺 2026 文化の十字路
學寮 SHOBOJI GAKURYO 正法寺

地域を結ぶ正法寺 往来する人・モノ・コト

正法寺の所在する黒石地域は、北・西に江刺・胆沢地域、東・南に東磐井地域を控え、北上川流域の平野部と東方の山間部を結ぶ要衝に位置しています。古くから、この地では地域を越えて人々や物資が往来し、信仰や文化が交わってきました。奥州屈指の曹洞宗寺院である 正法寺は、そうした広域的な交流のなかで、地域を結ぶ精神的な拠点として重要な役割を果たしてきました。

本フォーラムでは、正法寺を軸に、江刺・胆沢・磐井を中心とした地域に広がる人・モノ・コトの交流に着目し、地域間の結びつきのなかで育まれた信仰と文化、その歴史的特質を考えます。また、芦東山記念館とえさし郷土文化館で開催中の関連展覧会を通じて、正法寺に伝えられ寺宝に目を向けながら、正法寺が果たしてきた役割と、その広域的な意義を探ります。

13:30 開会

13:35～ 報告Ⅰ「胆沢・江刺郡と正法寺」
野坂 晃平 NOZAKA Kohei
日本考古学・地域史
(えさし郷土文化館 課長兼主任学芸員)



報告Ⅱ「磐井郡と正法寺」
高橋 紘 TAKAHASHI Kou
日本古代史・地域史
(芦東山記念館 主任学芸員)



報告Ⅲ「奥羽曹洞宗史上の正法寺」
佐々木徹氏 SASAKI Toru
日本宗教史・日本中世史
(仙台市博物館 学芸員)



14:35～ 休憩(5分)

14:40～ 報告Ⅳ「熊野信仰と正法寺」
椎野達也氏 SHIINO Tatsuya
日本中世史
(一関市博物館 学芸員)



報告Ⅴ「曹洞宗と民間信仰」
宮本升平氏 MIYAMOTO Shohei
日本民俗学・民間信仰史
(奥州市地域文化研究所 研究主幹)



15:25～ パネルディスカッション

コーディネーター 中村安宏氏 NAKAMURA Yasuhiro
日本思想史
(岩手大学人文社会科学部教授・芦東山記念館名誉館長)
パネリスト 報告者5名

お申込み・お問合せ

えさし郷土文化館

Esashi Native District Cultural Museum

☎ 0197-31-1600



【申込フォーム】
えさし郷土文化館 web ページ

主催 えさし郷土文化館、芦東山記念館
特別協力 大梅拈華山圓通正法寺